

だい しょう しゅだい  
第 2 章 主題



## どれくらいできる？ (第2章)

皆さんは日本語の主題についてどれくらい理解しているでしょうか。以下の質問に答えて、主題に対する皆さんの知識を確認しましょう。終わったら次のページの解答を見て、自己採点をしてください。



1. 次の文の中で正し文はどれでしょうか。正しい文には○を、正しくない文には×を付けてください。

- (1) ( ) 君よりは僕のほうがまじめだ。
- (2) ( ) スポーツが得意な和也は勉強は苦手だ。
- (3) ( ) コーヒーにはカフェインが入っている。
- (4) ( ) その公園は子供がいつも遊んでいる。
- (5) ( ) 次郎とは太郎が兄弟だ。
- (6) ( ) 都会は田舎のほうが暮らしやすい。
- (7) ( ) 札幌までは羽田から直行便が飛んでいる。
- (8) ( ) 台湾からは多くの観光客が日本を訪れる。
- (9) ( ) 最近の子どもは肉は好きだが魚は嫌いだ。
- (10) ( ) その小学校では挨拶運動が盛んだ。

2. ( ) の中に、「は」または「が」のどちらかを入れて、より自然な文にしてください。

- (11) 外を見てごらん。雨 ( ) 急に降ってきた。
- (12) あれっ、太郎 ( ) 外国人と話しているよ。
- (13) 日本食の中でラーメン ( ) 一番おいしい。
- (14) イエス・キリスト ( ) キリスト教の教祖だ。
- (15) 沖縄は暑い、北海道 ( ) 寒い。

## 「どれくらいできる? (第2章)」の解答



いかがでしたか。迷わないで正しい主題の文を見つけることができましたでしょうか。以下が解答になります。あなたは15問中何問正解できましたでしょうか。得点欄に自分の点数を記入してください。

- (1) (  ) 君よりは僕のほうがまじめだ。
- (2) (  ) スポーツが得意な和也は勉強は苦手だ。
- (3) (  ) コーヒーにはカフェインが入っている。
- (4) (  ) その公園は子供がいつも遊んでいる。
- (5) (  ) 次郎とは太郎が兄弟だ。
- (6) (  ) 都会は田舎のほうが暮らしやすい。(は→よりは)
- (7) (  ) 札幌までは羽田から直行便が飛んでいる。
- (8) (  ) 台湾からは多くの観光客が日本を訪れる。
- (9) (  ) 最近の子どもは肉は好きだが魚は嫌いだ。
- (10) (  ) その小学校では挨拶運動が盛んだ。
- (11) 外を見てごらん。雨 (  ) が 急に降ってきた。
- (12) あれっ、太郎 (  ) が 外国人と話しているよ。
- (13) 日本食の中でラーメン (  ) が 一番おいしい。
- (14) イエス・キリスト (  ) は キリスト教の教祖だ。
- (15) 沖縄は暑い、北海道 (  ) は 寒い。

あなたが間違ったところを確認してください。何が理解できていないのでしょうか。正解だったところは、どうしてその答えになるのか説明できるでしょうか。

---

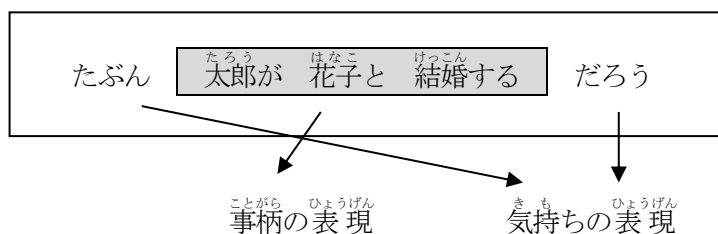
---

---

## 0. 「事柄」と「気持ち」の表現

日本語の文は、出来事を客観的に表す部分（事柄-proposition）と事柄に対してどのように感じるのかを表す部分（気持ち-modality）から成ります。たとえば、「たぶん太郎が花子と結婚するだろう」という文であれば、「太郎と花子が結婚する」が事柄の表現で、「たぶん～だろう」が気持ちの表現になります。これを図式化すると以下のようになります。

### 1) たぶん太郎が花子と結婚するだろう



このように、日本語の文は「事柄」と「気持ち」の部分から成り立っています。

### <やってみよう8>

以下の文について、例にならって、「事柄」の表現を四角（□）で囲んでください。

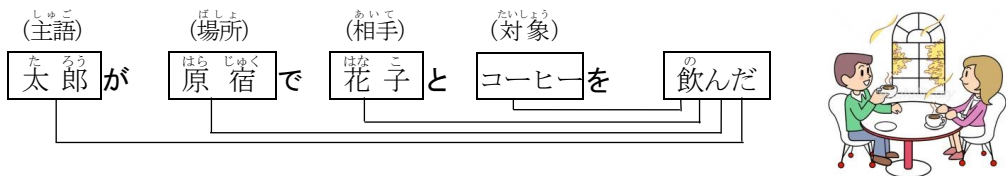
(例) トムさんが日本語能力試験N1に合格したなんて信じられない。

- (1) おそらく明日雨が降るだろう。
- (2) 山田さんに子供が生まれるそうだ。
- (3) もしかしたら来年息子がアメリカに留学するかもしれない。
- (4) きっと円高で石油が安くなるにちがいない。
- (5) 花火大会で熱海の町がにぎやかみたいだ。
- (6) どうやら太郎が原宿で花子とコーヒーを飲んだらしい。

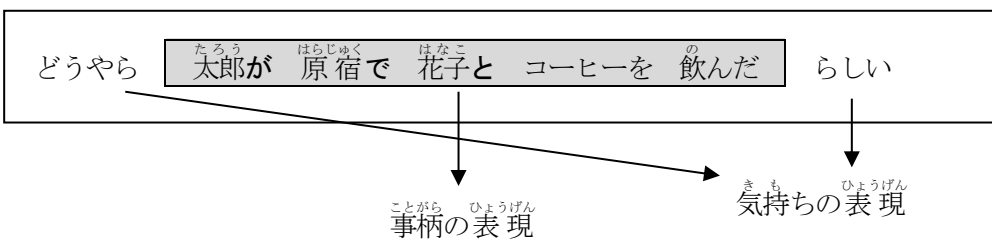
<やってみよう8>で四角で囲った「事柄」の表現をもう一度見てみましょう。じつは、この「事柄」の表現は、第1章で学んだ「日本語の基本構造」と同じです。

- (1) 明日あす 雨あめが 降ふる
- (2) 山田やまださんに 子供こどもが 生うまれる
- (3) 来年らいねん 息子むすこが アメリカあめりかに 留りゅう学がくする
- (4) 円高えんだかで 石油せきゆが 安やすくなる
- (5) 花火大会はなびたいかいで 熱海あたみの町まちが にぎやかだ
- (6) 太郎たろうが 原宿はらじゅくで 花子はなこと コーヒーこーひーを 飲のんだ

いかがでしょうか。これらの表現は、すべて述語が格助詞によって論理的に結ばれる基本構造ではありませんか。たとえば、(6)の例であれば、以下のような関係になります。



この基本構造に「気持ち」の表現を付け加えたものが、例文(6)「どうやら太郎が原宿で花子とコーヒーを飲んだらしい」という文になるわけです。



格助詞による日本語の基本構造は「事柄」の表現であることを理解しましょう。日本語の文は「事柄」の表現だけのこともあります。客観的な「事柄」の表現に主観的な「気持ち」の表現を付けて表すのが普通です。第1章では触れませんでした。が、じつは「～は」は文の主題を表す「気持ち」の表現となります。

# 1. 主題の「～は」

「～は」は文の主題（トピック）を表し、話者の気持ちの表現になります。どのように主題が話者の気持ちを表すのでしょうか。先ほどの<やってみよう 8>の例文(6)を使って、説明しましょう。例文(6)の事柄は、以下の4つの成分と述語からできています。

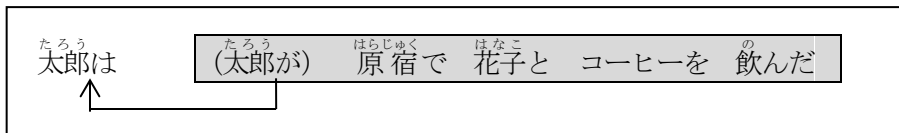
たろう 太郎が	はらじゆく 原宿で	はなこ 花子と	コーヒーを	の 飲んだ
(成分1)	(成分2)	(成分3)	(成分4)	(述語)

この事柄の表現からそれぞれの成分を取り出して、以下のように主題として提示することができます。

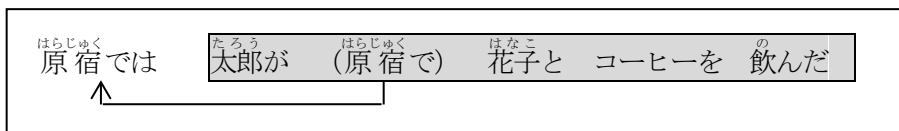
- 1) (成分1 : 太郎について言えば) 太郎は原宿で花子とコーヒーを飲んだ。
- 2) (成分2 : 原宿について言えば) 原宿では太郎が花子とコーヒーを飲んだ。
- 3) (成分3 : 花子について言えば) 花子とは太郎が原宿でコーヒーを飲んだ。
- 4) (成分4 : コーヒーについて言えば) コーヒーは太郎が花子と原宿で飲んだ。

つまり、「太郎が原宿でコーヒーを花子と飲んだ」という基本構造の中から、主題を一つ選んで作ったのが、上の1)～4)の文となるわけです。この主題の提示のメカニズムを以下の表でわかりやすく説明しましょう。

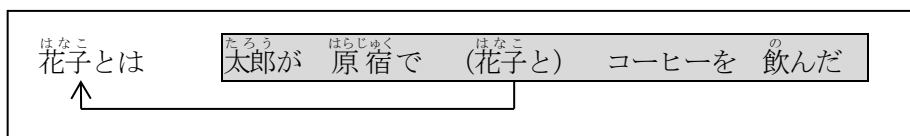
- 1) 太郎は 原宿で 花子と コーヒーを 飲んだ。



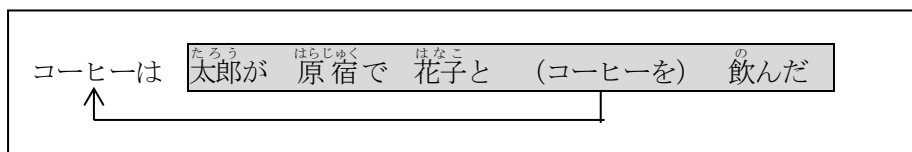
- 2) 原宿では 太郎が 花子と コーヒーを 飲んだ。



3) 花子とは 太郎が 原宿で コーヒーを 飲んだ。



4) コーヒーは 太郎が 原宿で 花子と 飲んだ。



これらの4つの文はどれも主題が異なりますが、同じ事柄から作られていることがわかるでしょう。したがって、1) から4) の文の客観的な事柄は同じであり、異なっているのはどれを主題として提示するかだけになります。日本人はこのような主題の提示を無意識に行っていますが、主題を提示し、それに対して解説するというのが日本語文の基本的な形になるわけです。

(主 題)

(解 説)

- |       |   |                |
|-------|---|----------------|
| 太郎は   | — | 原宿で花子とコーヒーを飲んだ |
| 原宿では  | — | 太郎が花子とコーヒーを飲んだ |
| 花子とは  | — | 太郎が原宿でコーヒーを飲んだ |
| コーヒーは | — | 太郎が原宿で花子と飲んだ   |

したがって、日本語の文は「主題—解説」という構造であり、英語のような「主語—述語」の関係は基本構造の中だけの存在であることを理解する必要があります。

また、これらの主題はすべてが同じように現れるわけではなく、よく現れるものとあまり現れないものがあります。前ページの1) から4) の例でいえば、1) が一番よく現れる形で、2) 3) 4) はある特定の状況において現れると言えるでしょう。これは、通常会話の中では話題となるのは主語(「～が」)であるからです。場所(「～で」)や相手(「～と」)や目的語(「～を」)が話題(主題)となることはあまり多くないでしょう。しかし、基本構造の成分であれば、どれでも主題となることは可能です。

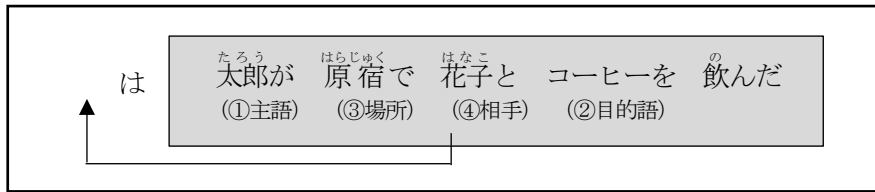




## 先生のワンポイント・アドバイス②

### 主題が提示される状況 r

主題は事柄の表現の中から話者が無意識に選んで、提示していることが理解できたでしょうか。「太郎が原宿で花子とコーヒーを飲んだ」という事柄であれば、主題になりやすいのは、①主語、次に、②目的語、そして、③場所や④相手という順番になります。



「太郎が原宿で花子とコーヒーを飲んだ」という事柄について、どの成分(①～④)を話題にするかによって、異なる主題の文となります。

(1) 太郎 (①主語) を話題にする。

太郎は、原宿で花子とコーヒーを飲んだ。



(2) コーヒー (②目的語) を話題にする。

コーヒーは、太郎が原宿で花子と飲んだ。



(3) 原宿 (③場所) を話題にする。

原宿では、太郎が花子とコーヒーを飲んだ。



(4) 花子 (④相手) を話題にする。

花子とは、太郎が原宿でコーヒーを飲んだ。



このように、理論上は4つの主題の提示が考えられますが、実際は①または②が主題となることが多いと言えるでしょう。

## <やってみよう9>

次の文の主題は右の「事柄」の表現のどの成分を提示したものでしょうか。例にならって、主題となる成分に○をつけてください。

(例) お菓子は妹が食べてしまった。 ← 妹が お菓子を 食べてしまった

(1) コンビニでは、コーヒーが安く買える。 ← コーヒーが コンビニで 安く 買える

(2) 私は、スポーツが苦手である。 ← 私が スポーツが 苦手である

(3) お金は、山田さんが払ってくれた。 ← 山田さんが お金を 払ってくれた

(4) 先週は、雨がよく降った。 ← 先週 φ 雨が よく 降った

(5) 駅までは、ここからバスが走っている。 ← ここから 駅まで バスが 走っている

(6) 田中さんは、子どもが3人いる。 ← 田中さんに 子どもが 3人 いる

以上のことから、主題は「事柄（基本構造）」の表現の中から成分が1つ選ばれていることがわかるでしょう。また、主題は「～は」だけの場合と、「格助詞+は」の場合があります。これをまとめると、次のようになります。

が／を／φ ⇒ 「～は」  
 その他の格助詞 ⇒ 「格助詞+は」または「～は」

「～が」と「～を」はいつも重要な成分です。主題として「～は」だけで表されても、述語との関係がはっきりしています。しかし、それ以外の格助詞は、述語との関係が不明になることがあるために、「格助詞+は」となることが多くなります。ただし、時の名詞(φ)は「～は」になります。

学習者が日本語を書く時には「～が」と「～を」以外は、格助詞を入れて主題を表したほうがいいでしょう。

## <やってみよう 10>。

次の主題の文は、どの格助詞（が・を・に・φ・へ・で・と・より・から・まで）の成分が提示されたものでしょうか。例にならって、主題となる成分の格助詞（φを含む）を（ ）に入れてください。なお、「～が／～を／～φ」以外の格助詞でも「～は」になるものがあるので、注意してください。

(例) ( に ) <u>その池</u> は、魚がたくさんいる。	
(1) ( ) <u>この机</u> は、3年前に母が購入した。	(2) ( ) 春 <u>は</u> 、桜の花が咲く。
(3) ( ) <u>彼の結婚</u> は、両親が反対している。	(4) ( ) <u>サンタクロースの袋</u> は、いろんなプレゼントが出てくる。
(5) ( ) <u>私</u> は、頭が痛い。	(6) ( ) <u>5時まで</u> は、誰かが事務所にいる。
(7) ( ) <u>小学校へ</u> は、息子が通っている。	(8) ( ) <u>昨日</u> は、父の誕生日だった。
(9) ( ) <u>風呂掃除</u> は、息子がやってくれた。	(10) ( ) <u>学校</u> は、スマホが禁止されている。
(11) ( ) <u>この間</u> は、先生がごちそうしてくれた。	(12) ( ) <u>飛行機</u> よりは、電車のほうが安全だ。
(13) ( ) <u>アメリカ</u> は、出張で3回行っている。	(14) ( ) <u>親</u> よりは、先生のほうが厳しい。
(15) ( ) <u>その水道</u> は、水が出ない。	(16) ( ) <u>その公園</u> は、子供がいつも遊んでいる。
(17) ( ) <u>中国</u> とは、アメリカが争っている。	(18) ( ) その <u>会場</u> は、最寄駅からシャトルバスが運行している。
(19) ( ) <u>昨年</u> は、台風がたくさん日本にきた。	(20) ( ) <u>電球</u> は、エジソンが1879年に発明した。
(21) ( ) <u>私</u> は、ピアノがひける。	(22) ( ) <u>京都</u> は、毎年8月に大きな祭が行われる。
(23) ( ) <u>太郎</u> は、絵がうまい。	(24) ( ) <u>次郎</u> とは、太郎がいつも遊んでいた。

## 2. 「～は」と「～が」の使い分け

格助詞の「～が」を主題として提示する場合と提示しない場合があります。

- 1) 太郎は次郎とけんかした。 → 主題の文
- 2) 太郎が次郎とけんかした。 → 主題のない文

このとき、「～が」と「～は」以外にまったく同じ文になるので、この2つの文の使い方が学習者には難しいとされています。1)は「太郎」を主題にして、「太郎」について述べた文です。2)は、「太郎が次郎とけんかした」という事柄だけを伝える文です。ここでは、この「～は」と「～が」の基本的な違いについて詳しく説明していきます。まずは、「～は」から見いきましょう。

### (1) 「主題」と「対比」の「～は」

これまでに見てきたように、「～は」は文の主題(トピック)を表します。

- 1) 花子は太郎と結婚する。(花子について言えば...)
- 2) 富士山は美しい。(富士山について言えば...)
- 3) 私は日本人だ。(私について言えば...)

主題は通常1つですが、2つの成分が主題として表されることがあります。その場合、主題というよりも、対比の意味合いが強くなります。

- 4) 沖縄は暑い、北海道は寒い。(沖縄が暑い ↔ 北海道が寒い)
- 5) 日本は小さいが、中国は大きい。(日本が小さい ↔ 中国が大きい)

このように、対比の文は、「～は...だが、～は...だ。」という構文となります。また、この対比の文では全体の主題としての「～は」も表されることがあります。

- 6) 私は、魚は嫌いだが、肉は好きだ。  
主題 対比 対比

7) イスラム教徒は、豚肉は食べないが、牛肉は食べる。  
主題 対比 対比

最初の「～は」が全体の主題で、後の2つの「～は」が対比になります。6)は「私について言えば、魚が嫌いで、肉が好きだ」という意味です。7)は、「イスラム教徒について言えば、豚肉を食べないが、牛肉を食べる」という意味になります。構文としては、「～は、～は...だが、～は...だ」となり、3つの「～は」が使われることが可能になります。

また、対比の表現では、もう一つの対比が省略されることがあります。

8) 私は魚は嫌いだ。

この場合、対比の意味は残るので、「私は魚は嫌いだ(が、何か他のものは好きだ。)」という意味合いになります。もし対比の意味を出さないのであれば、

9) 私は魚が嫌いだ。

と「～が」で表します。こうすることで、対比の意味がなくなり、単に魚が嫌いであるという意味になります。

## <やってみよう 11>

例を参考に、「～は、～は...だが、～は...だ」の文を作ってください。

(例) 「気候」について、インドネシアが暑い、アイスランドが寒い  
→ 気候は、インドネシアは暑い、アイスランドは寒い。

(1) 「物価」について、スイスが安い、ポーランドが安い

(2) 「私」について、その人を知っている、あの人を知らない

(3) 「東京」について、人が多い、自然が少ない

(4) 「京都」について、夏が暑い、冬が寒い

(5) 「今度のパーティ」について、山田さんを呼んだ、田中さんを呼ばなかった

## (2) 「事実」と「強意」の「～が」

主題のない「～が」の文は客観的な事柄の文になります。ある事実を相手に伝える時は、「事柄」の内容だけをそのまま相手に伝えます。

1) あっ、雨が降ってきた！ ← 雨が降ってきたという事柄だけを伝える（事実）

2) おっ、荷物が届いた！ ← 荷物が届いたという事柄だけを伝える（事実）

このような文は、相手の知らない事柄をそのまま伝えるため、**事実**だけを表すことになります。ただし、誰でも知っている**事実**は「～が」ではなく「～は」で表されます。

3) ×太陽が東から上る。 → 太陽は東から上る。

また、「～が」には**強意**の意味があります。複数の選択肢の中から一つを選んで伝えるので、強意の意味が生まれます。

4) (バイキングで)「何がおいしかったですか?」「ピザがおいしかったです。」

5) 「誰が犯人だろうか?」「あの人が犯人です」

このように「～が」には**新しく発見した出来事**を伝える「**事実**」とたくさんのなかからあるものを選んで相手に伝える「**強意**」があります。この二つについて、以下で練習してみましょう。

## <やってみよう 12>

例を参考に、「～が」の文を作ってください

(例) 「太郎が花子とデートしている」のを見て

→ あつ、太郎が花子とデートしている!

(1) 「このパン屋では何が一番人気ですか。」 → アンパン

(2) 「雪が降ってきた」のを見て

→ 外を見てごらん。

(3) 「誰が学生ですか?」と聞かれて

→ あの人

(4) 「車と車がぶつかった」のを見て

→ あつ、

(5) 「風が強くて」「木が揺れている」のを見て

→ あつ、

### (3) 新しい情報の「～が」と古い情報の「～は」

「～が」によって表されるものはまだ知らない情報 (new information) になります。これに対し、「～は」によって表されるものは主題 (トピック) であるため、相手ですでに知っている情報 (old information) になります。以下は日本の昔話「桃太郎」の最初の部分です。括弧の中に「～が」または「～は」を入れてみてください。

- 1) 昔 あるところにおじいさんとおばあさん ( ) いました。おじいさん ( )  
山へ柴刈りに、おばあさん ( ) 川へ洗濯 に行きました。

Once upon a time, there lived an old man and an old woman in a small village.  
One day the old man went to the hill to gather firewoods and the old woman  
went to the river to wash their clothes.

物語の最初の部分ですから、「おじいさんとおばあさん」は新しい情報になり、「～が」が使われます。しかし、一度紹介された後は古い情報になるので、「～は」になります。ここでは英語の“a”と“the”に対応します。この「新しい／古い」情報で次の文の違いを説明することができます。

2) 月がきれいだ。

3) 月はきれいだ。

2) の例文では、今見ている「月」という意味であり、三日月や半月など、その時々「きれいな月」を表しています。今見ている「月」の美しさは今しか見ることはできないでしょう。その意味で、新しい情報になるわけです。これに対し、3) の月は誰でも知っている一般的な「月」の意味で使われていて、特に目の前に月がある必要はありません。「月というものはきれいなものだ」という誰もが持っている一般論を表しています。その意味で「月」の意味は古い情報となります。なお、古い情報であっても、強意の意味で使われると「～が」になるので、注意してください。

## <やってみよう13>

例を参考に、( ) の中に「～は」または「～が」を入れてください

(例) 天皇陛下 ( は ) 日本国民の統合の象徴である。

(1) すごい! 空 ( ) 夕焼けで真っ赤になっている。

(2) 日本 ( ) 昔から自然災害の多い国である。

(3) アインシュタイン ( ) 偉大な物理学者だった。

(4) 急いでください。もう電車 ( ) 来ているよ。

(5) 小林先生 ( ) 授業の時 ( ) 優しいが、テストの時 ( ) 厳しい。

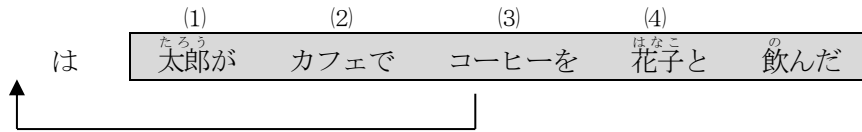
(6) 「たくさん子供が遊んでいますね。」「赤い帽子の少年 ( ) 私の息子です。」



## 第2章のまとめ

### 1. 主題

「事柄 (基本構造)」の中から話者が「主題」として提示する



- (1) 「太郎」が話題 → 太郎は、カフェでコーヒーを花子と飲んだ。
- (2) 「カフェ」が話題 → カフェでは、太郎がコーヒーを花子と飲んだ。
- (3) 「コーヒー」が話題 → コーヒーは、太郎がカフェで花子と飲んだ。
- (4) 「花子」が話題 → 花子とは、太郎がカフェでコーヒーを飲んだ。

### 2. 「～は」と「～が」

- (1) 主題と対比の「～は」：「日本は、国土は狭いが、人口は多い。」
- (2) 事実と強意の「～が」：「あつ、雨が降ってきた！」「あの人が犯人です！」
- (3) 新しい情報「～が」と古い情報「～は」：「月がきれいだ。」と「月はきれいだ。」

<問題1> 次の文はどの格助詞の成分が主題として提示されていますか。その格助詞を右に記入してください。

- (例) あのオモチャは子供が壊した。 \_\_\_\_\_ を
- (1) あの交差点は事故がよく起こる。 \_\_\_\_\_
- (2) 買い物はスーパーが便利だ。 \_\_\_\_\_
- (3) パリはロンドンから高速鉄道が運行している。 \_\_\_\_\_
- (4) エレンとは一緒に旅行したことがある。 \_\_\_\_\_
- (5) 沖縄からは多くの人がブラジルに移住した。 \_\_\_\_\_
- (6) 台湾よりはインドネシアのほうが暑い。 \_\_\_\_\_

<問題2> 次の ( ) に「～は」または「～が」を入れてください。

- (1) 見てごらん。富士山の上に丸い雲 ( ) かかっている。
- (2) 太郎 ( ) 勉強 ( ) 苦手だが、運動 ( ) 得意だ。
- (3) 日本の映画監督の中で「黒澤明」( ) 一番有名だ。
- (4) 中国 ( ) 世界で一番人口が多い。
- (5) 「この中に誰か医者はいないか。」鈴木さん ( ) 医者だ。」

## 2. 確認クイズ (10分)

【問題1】 次の文はどの成分が主題に提示されたものでしょうか。例にならって、提示された格助詞を1つだけ選んで右に記入してください。

(例) 沖縄は山田さんが毎年行っている。 \_\_\_\_\_ に (へ)

- (1) あの美術館は以前展覧会が開かれた。 \_\_\_\_\_
- (2) その人とは私の友人と一緒に仕事をしていた。 \_\_\_\_\_
- (3) 花子はカラオケが得意だ。 \_\_\_\_\_
- (4) あのオモチャは子供が壊した。 \_\_\_\_\_
- (5) その花瓶は水がもれている。 \_\_\_\_\_
- (6) その川は魚が全然いない。 \_\_\_\_\_
- (7) 日本の生活は私も妻も満足している。 \_\_\_\_\_
- (8) 庭掃除は夫の仕事だ。 \_\_\_\_\_
- (9) (私の) 妻よりは娘のほうが家庭的だ。 \_\_\_\_\_
- (10) 駅までは父がいつも歩いている。 \_\_\_\_\_

～は	～が	～を	～に	～で	～から	～まで	～より	～へ	～と	述語
----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

(この中の格成分がひとつ主題になる)

【問題2】 次の文の( )に「～は」または「～が」を入れてください。

- (1) 空を見ていた太郎が、「あっ、飛行機 (① ) 飛んでいる！」と叫んだ。
- (2) ジムは日本食 (② ) 苦手だが、中華料理 (③ ) 食べられるそうだ。
- (3) 先生：このクラスにアフリカからの留学生がいませんか？  
学生：ピティアさん (④ ) スーダンから来ています。
- (4) 花子：由美さんは何が好きですか？  
由美：私 (⑤ ) フルーツ (⑥ ) 好きです。
- (5) 窓の外を見てごらん。紅葉 (⑦ ) ととてもきれいだよ。
- (6) 地球 (⑧ ) 太陽の周りを回っている。
- (7) カナダ (⑨ ) 、夏は涼しいが、冬 (⑩ ) ととても寒い。